

CASBEE® 京都-新築

標準システム 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市中京区壬生辻町計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	京都市中京区壬生辻町50番1	構造	RC造
用途地域	住工2区、第2種、2000年以降建築、市街地型再開発形成、適量FPCの導入、建築コスト削減、居住コスト削減	平均居住人員	72人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年6月14日
敷地面積	912㎡	作成者	椿本彩香
建築面積	395㎡	確認日	2017年6月15日
延床面積	2,147㎡	確認者	平野哲也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: 3.0 ★★☆☆☆ B+: 1.5 ★☆☆☆☆ B: 1.0 ★☆☆☆☆ C: ★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	87%
③ 上記+②以外の	84%
④ 上記+	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.0
Q2 サービス性能: 2.6
Q3 室外環境(敷地内): 2.5
LR1 エネルギー: 3.2
LR2 資源・マテリアル: 2.9
LR3 敷地外環境: 2.9

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.0
温熱環境	2.2
光・視環境	2.7
空気質環境	4.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	2.5
耐用性	2.9
対応性	2.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性	2.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	2.2
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.6
地域環境	2.2
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・省エネルギーに優れた住環境。		
Q1 室内環境 ・内装材にはすべてF☆☆☆☆製品の使用。	Q2 サービス性能 ・インターネット利用。	Q3 室外環境(敷地内) ・特に無し。
LR1 エネルギー ・太陽光発電設備を設置。 ・LED照明使用。	LR2 資源・マテリアル ・地域産木材使用。	LR3 敷地外環境 ・光害の抑制に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される